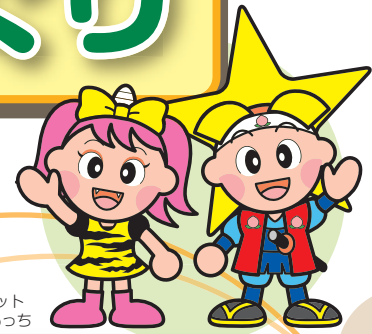




ももち・うらちと
一緒に、岡山の古墳を
めぐってみよう！

おかやまの 古墳めぐり



岡山県マスコット
うらち・ももち



発行日 平成25年3月31日
 発行 岡山県教育委員会
 編集 岡山県教育庁文化財課
 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
 電話 086-226-7601 (直通)
 協力 赤磐市教育委員会、岡山県古代吉備文化財センター、岡山県立記録資料館、
 岡山県立博物館、岡山県立岡山城東高等学校、岡山市立西大寺小学校、
 岡山市立妹尾中学校、真庭市教育委員会

表紙写真 右上：王墓山古墳の石棺（倉敷市）、左上：箭田大塚古墳（倉敷市）
 右下：造山古墳（岡山市、岡山県立記録資料館写真提供）、左下：大谷1号出土の大刀（真庭市、同教育委員会写真提供）

古墳時代の岡山

今から約千七百年前の3世紀の後半ごろ、前方後円墳が出現しました。はじめて築かれた巨大前方後円墳である箸墓古墳（奈良県桜井市）は、全長約280m、高さ約30mの大きさです。そのころ、岡山でも同じように大規模な前方後円墳が築かれています。浦間茶臼山古墳（岡山市、国史跡）は全長約140mで、ちょうど箸墓古墳の1/2の長さに作られています。大和地方には及びませんが、岡山にも大きな権力をもった支配者（豪族）が現れていたことを示しています。

5世紀になると、古墳はさらに巨大化します。日本で最も大きな前方後円墳は、大仙古墳（大阪府堺市）で、全長約486m、高さ約35mあります。岡山では、造山古墳（5ページ）が最も大きく全長約360mで、全国でも第4位の大きさです。県内では、他に作山古墳（9ページ）が全長約286mで全国第9位、両宮山古墳（13ページ）が全長約206mで全国で40位前後となっています。このように、古墳時代の岡山は、全国的に見ても大きな古墳がたくさん作られた地域で、近畿地方に次いで、大きな力をもっていたと考えられます。岡山平野の豊かな農業生産力や、瀬戸内海の海上交通において重要な場所にあったことなどから、大きく発展したのでしょう。

6世紀になると、古墳の内部に横穴式石室とよばれる、大きな石を使った部屋を作るようになります。こうもり塚古墳（10ページ）の横穴式石室は、全長19.4mで岡山県下最大、全国でも有数の大型石室です。古墳の全長は約100mで、石室の中には家形の石棺がおさめられており、非常に大きな力をもった豪族が葬られていると考えられます。

古墳時代には、鉄製の農具が広まって生産力が大きく高まり、また武器も鉄製のものが使われたので、日本列島各地の豪族たちは鉄を重要視していました。鉄は、主に朝鮮半島からもたらされていましたが、6世紀ごろになると、日本列島にも

鉄を作り出す技術が伝えられました。岡山は、鉄の原料（鉄鉱石や砂鉄）が豊富で、製鉄の技術を積極的に受け入れたため、鉄の一大生産地となりました。このことも、6世紀の岡山が大きな力をもつようになったことの原因のひとつでしょう。

製鉄を伝えた渡来人は、須恵器とよばれる焼き物の技術や、漢字、仏教なども伝えました。仏教が伝えられたことによって各地に寺院が建立され始めたころ、前方後円墳は作られなくなります。岡山でも、6世紀の終わりごろから前方後円墳は作られなくなり、それに代わって方墳などが作られ、古墳の規模は小さくなります。大谷・定古墳群（15ページ）はその時代を代表する古墳です。8世紀に入って火葬が伝えられるころになると、古墳は作られなくなりました。



大きな横穴式石室と家形の石棺
(岡山市北区・牟佐大塚古墳、岡山県立記録資料館写真提供)



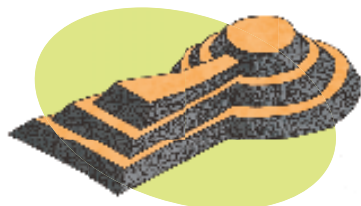
古墳をおとす際の注意点

- 古墳は林ややぶのなかにあることもあります。虫も多いので、暑くても素肌の余り出ていない服装がよいでしょう。
- ハチやマムシなどに要注意。
- 古墳や周辺にあるものを動かしたり、持ち帰ったりしないようにしましょう。
- 古墳の中には、個人所有の場所もあります。立ち入り禁止の場所には入らないようにしましょう。
- ゴミは持ち帰りましょう。
- 石室の観察には懐中電灯があると便利です。

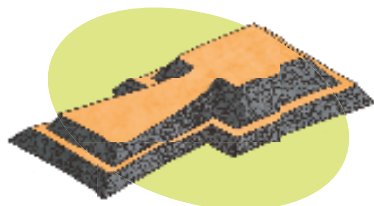
古墳を知るキーワード

古墳の形

古墳は、^{おか}丘を利用したり、土を盛ったりして作った墳丘（ふんきゅう）と呼ばれる高まりがあります。この墳丘を上から見た時の形によって、古墳は分類されています。円形と方形をつないだ形の前方後円墳（ぜんぽうこうえんぶん）、方形と方形をつないだ形の前方後方墳（ぜんぽうこうほうぶん）、円形の円墳（えんぶん）、方形の方墳（ほうぶん）などがあります。



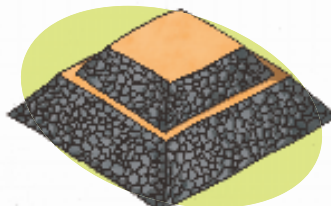
前方後円墳（イメージ）



前方後方墳（イメージ）



円墳（イメージ）



方墳（イメージ）

古墳を飾ったもの

古墳には、表面に石が敷き詰められたものがあります。また、古墳のまわりや上には、埴輪（はにわ）と呼ばれる焼き物が置かれることがあります。はにわには、^{えんどう}円筒形のもののほか、人・動物・家・武器・船などをかたどったものがあります。特に円筒形のはにわは、岡山でその元になるものが作られたと考えられています。



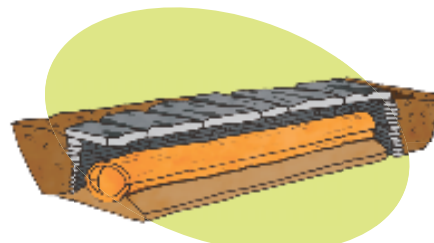
古墳を飾った動物のはにわ（イメージ）

ひつぎの種類

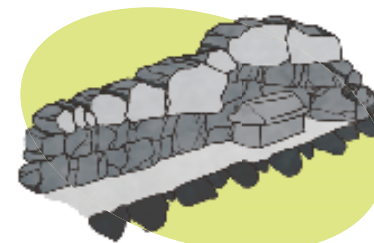
死者を納めたひつぎは、その材料によって、木棺（もっかん、木製）、石棺（せっかん、石製）、陶棺（とうかん、焼き物）などがあります。

ひつぎを納めた部屋

ひつぎを納めるために石を積み上げて作った部屋を、石室（せきしつ）といいます。石室は、^{たて}縦穴式石室（たてあなしきせきしつ）と^{よこ}横穴式石室に大きく分けられます。縦穴式石室は、古墳の頂上から穴を掘るなどして石を積み上げた石室で、上からひつぎを納め石材で天井をおおいます。横穴式石室は、石室の横に出入口があり、何度も死者を納めることができます。



縦穴式石室（イメージ）



横穴式石室（イメージ）

死者と一緒に埋められたもの

死者と一緒に古墳へ埋められた物を、副葬品（ふくそうひん）といいます。副葬品には、まが玉などの装身具、鉄の武器・馬具・農具、銅の鏡、日常生活用品の土器など、さまざまなものがあります。このなかには、銅の鏡のように外国からもたらされたものもあります。副葬品からは、古墳に埋められた人たちの力の大きさを知ることができます。



副葬品の大刀の飾り
（赤磐市 岩田 14 号墳出土
赤磐市教育委員会写真提供）



副葬品の銅の鏡
（備前市 丸山古墳出土
岡山県立博物館写真提供）

つくりやま 造山古墳

岡山市北区新庄下〈国史跡〉



岡山県古代吉備文化財センター写真提供



前方部の上には、石棺が残っていて見学できるよ。



5世紀前半に作られた、長さ360mの巨大な前方後円墳です。県内で最も大きく、全国でも4番目の大きさです。後円部の高さは約32mあり、名前のとおり見た目はまるで山のようなのですが、元々あった丘を削り、大量の土を盛って作られたと考えられます。古墳は三段になっており、斜面には石を敷き詰め、作られた当時は、円筒形のはにわや家や盾などの形をしたはにわをたくさん並べていました。さらに古墳のまわりには堀がめぐらされていたようです。吉備地方（岡山県から広島県東部）を治めた非常に有力な豪族の墓と考えられますが、当時は近畿地方の大王と同じくらの大きな力をもっていたようです。

足そのぼさば



千足古墳（岡山市北区新庄下、国史跡）

長さ約74mの前方後円墳です。造山古墳とともに5世紀前半に作られたと考えられます。九州地方のものと同く横穴式石室があり、横穴式の石室では吉備で最も古いものです。石室の中の仕切り石には、直弧文と呼ばれる直線と曲線で表現された文様が彫られています。

周辺の施設



岡山県古代吉備文化財センター（岡山市北区西花房1325-3）

県内の遺跡で出土した文化財を展示しています。

開館時間	9時～17時
休館日	年末年始（臨時休館あり）
電話	086-293-3211

案内図



🅐 駐車場 🚻 トイレ あり

かなくらのやま 金蔵山古墳

岡山市中区沢田・円山



盾形のはにわ（イメージ）



操山には横穴式の古墳もたくさん作られているんだって。懐中電灯を持っていきましょう。

後円部のすきまをのぞいてみると・・・



竪穴（たてあな）式石室のようすが観察できます。



長さ165mの大型の前方後円墳で、操山の山の上に作られています。造山古墳よりも前に作られた古墳では、中四国、九州で最大の大きさとなります。古墳には大量のはにわが置かれており、家や盾の形をしたものもあります。銅の鏡や石で作った腕輪など数多くの副葬品が出土しました。特に、たくさんの鉄の道具をおさめた容器が発見されたことで知られています。4世紀の吉備地方の非常に有力な豪族の墓とみられます。

足そのぼさば



沢田大塚古墳

直径16mの円墳で、6世紀に作られたと考えられます。奥行き11mの横穴式の石室があり、中に入ることができます。

周辺の施設

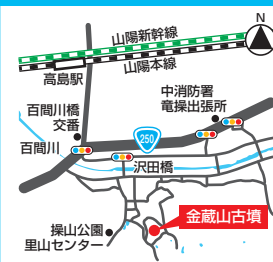


岡山市埋蔵文化財センター（岡山市中区網浜334-1）

岡山市内の遺跡で出土した文化財を展示しています。

開館時間	9時～16時30分
休館日	日曜、祝祭日、年末年始
電話	086-270-5066

案内図



び ぜんくるまづか 備前車塚古墳

岡山市中区湯迫・四御神



後方に敷き詰められた石



奈良県や京都府などで出土したものと同じ型で作られた鏡もあるよ。



上から見たイメージ

3世紀の後半ごろに作られた最も古い古墳の一つで、約48mの前方後方墳です。古墳の斜面に敷き詰められた石がよく残っているほか、古墳の高まりや前方部の形なども当時の状態をよくとどめています。

足のばさば

かるうとづか 唐人塚古墳 (岡山市中区寅田)

長さ約9mの横穴式石室の中に、兵庫県から運ばれた石でできたひつぎの一部が残されています。

じんぐうじやま 神宮寺山古墳 (岡山市北区中井町、国史跡)

御野小学校の北東に隣接した、約150mの前方後円墳で、4世紀後半ごろに作られたと考えられています。

むさおつか 牟佐大塚古墳 (岡山市北区牟佐、国史跡)

現状で直径約30mの6世紀末ごろの円墳で、大きな横穴式石室の中には、井原市から運ばれた石でできたひつぎがあります。

案内図



や た おおつか 箭田大塚古墳

倉敷市真備町箭田〈国史跡〉

6世紀末から7世紀初めごろに作られた直径46mの円墳で、大きな横穴式石室があることで有名です。石室の長さは19mもあり、一番広いところで3mも幅があります。石室の奥と右に3つの石のひつぎがあります。副葬品として装飾のある刀、馬具、金色の環、そして人物はにわの顔などが知られています。

この古墳の石のひつぎは箱式石棺と呼ばれているよ。



み わ やま 美和山古墳群

津山市三宮〈国史跡〉



1号墳

1号墳は「胴塚(どうづか)」、2号墳は「蛇塚(へびづか)」、3号墳は「耳塚」と呼ばれているんだって。



この古墳群には、美作地方最大の前方後円墳(全長約85m)の1号墳、直径40mの円墳である2号墳、直径35mの円墳である3号墳の3基の古墳が残され、4世紀ごろに築かれたと考えられています。

周辺の施設

津山弥生の里文化財センター (津山市沼600-1)

津山市内の遺跡で出土した文化財などを展示しています。

開館時間	9時～17時
休館日	月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
	12月27日～1月4日
電話	0868-24-8413

案内図



🅐 駐車場 🚻 トイレ あり

案内図



🅐 駐車場 🚻 トイレ あり



大きな石室の内部 (岡山県立記録資料館写真提供)

つくりやま 作山古墳

総社市三須〈国史跡〉



岡山県立記録資料館
写真提供

総社市の南東部にある巨大な前方後円墳です。全長約286mという大きさは、岡山県内で造山古墳に次いで第2位、全国でも第9位です。吉備地方を治めた非常に有力な豪族の墓でしょう。造山古墳の後、5世紀の中ごろに作られた古墳と考えられています。発掘調査は行われておらず、石室などは分かっていませんが、はにわがたくさん見つかっています。



作山古墳のはにわ列

足ののびざば



角力聖山古墳 (総社市岡谷、市史跡)

古墳のすさが、36m×38mもある大きな方墳です。古墳の上には、樹齢400年といわれるクロマツがあります。

周辺の施設



総社市埋蔵文化財学習の館 (総社市南溝手265-3)

総社市内で出土した考古資料を展示しています。

開館時間	9時～16時
休館日	土・日曜日、祝日
	12月28日～1月4日
電話	0866-93-8071

案内図



🅐 駐車場 🅑 トイレ あり

づか こうもり塚古墳

総社市上林〈国史跡〉



石室の内部

この古墳とほぼ同時(6世紀後半～7世紀初め)に作られた箭田大塚古墳・牟佐大塚古墳を合わせて、三大巨石墳ということもあるよ。



総社市の南東部にある全長約100mの前方後円墳です。横穴式石室は全長19.4mあり、県内で最も大きな石室です。吉備地方を治めた非常に有力な豪族の墓でしょう。ひつぎも立派なもので、家形の石棺や陶棺が納められていました。副葬品も多く、金ばくを貼った刀や馬具など豪華なものも発見されています。



空から見たこうもり塚古墳 (岡山県立記録資料館写真提供)

足ののびざば



江崎古墳 (総社市上林、県史跡)

全長45mの前方後円墳で、6世紀末ごろに築かれたと考えられています。長さ13.8mの横穴式石室の中には、家形の石棺が残されています。

案内図



🅐 駐車場 🅑 トイレ あり

とうげ 峠古墳群

総社市清音三因〈市史跡〉



峠古墳群のように、小さな古墳がたくさん集まっているものを群集墳（ぐんしゅうふん）と呼んでるよ。



60基を超える古墳がある峠古墳群は、移転された1号墳～3号墳などが歴史公園として整備されています。また、山の斜面のあちこちに小さな横穴式石室が姿を見せ、その多くが、7世紀に作られたと考えられています。



〔P〕駐車場 あり

つきやま 築山古墳

瀬戸内市長船町西須恵〈県史跡〉



ひつぎの石は、九州・阿蘇山の近くから運ばれたらしいよ。



後円部にある家の形をした石棺

まるやま 丸山古墳

備前市畠田〈国史跡〉



丸山古墳の石棺（イメージ）

南北68m、東西55m、高さ9mの円墳で、4世紀の終わりに作られたと考えられています。古墳に埋められている石棺は、家の形をした文様などが彫られ、県内では他に例がありません。また、この古墳からは、中国製を含む30面を超える銅の鏡が出土していますが、その一部が県立博物館（4面）と備前市歴史民俗資料館（個人蔵・1面）に保管されています。



備前市歴史民俗資料館（備前市東片上385）

備前市内の歴史や備前焼の歴史などのテーマで展示を行っています。

開館時間	9時～16時30分
休館日	月曜日（祝祭日の場合はその翌日）、祝祭日の翌日、12月29日～1月3日
電話	0869-64-4428



須恵古代館（瀬戸内市長船町西須恵502-2）

長船地区で発見された須恵器などの出土品を展示しています。

開館時間	9時30分～17時
開館日	土・日曜日、祝日
電話	0869-26-5225



りょうぐうざん

両宮山古墳

赤磐市和田・穂崎〈国史跡〉

近畿地方にある
大王の墓も、堀が二重に
なっているよ。



岡山県立記録資料館 写真提供

長さ約206mの巨大な前方後円墳。岡山市の造山古墳と総社市の作山古墳に続く、岡山県下第3位の大きさです。古墳の周囲に作られた堀がよく残っており、水をたたえた姿を見ることが出来ます。調査によって、その外側に、現在は埋まっていますがもう一つ堀があったことがわかりました。5世紀の吉備地方を治めた非常に有力な豪族の墓と考えられています。

足そのぼせぼ



森山古墳 (赤磐市穂崎)

両宮山古墳の近くにあり、長さ82mで、前部分が短い帆立貝式という形の古墳です。古墳の盛り土がとても高いのが特徴です。また、少し離れて、両宮山古墳に続いて作られた朱駄古墳、小山古墳があります。朱駄古墳から出土した石棺は、岡山県立博物館の玄関先に展示してあります。

岩田14号墳 (赤磐市山陽)

全長11.8mの横穴式石室をもつ6世紀後半の古墳で、山陽団地内の公園に復元整備されています。

周辺の施設



赤磐市山陽郷土資料館

岩田14号墳など両宮山古墳周辺に所在する遺跡や古墳の資料を展示しています。

開館時間 9時～17時
休館日 月曜日・祝祭日、
年末年始
電話 086-955-0710

案内図



よづか

四ツ塚古墳群

真庭市蒜山上長田〈国史跡〉

4つの大きな塚
(古墳)が目立っていたので、
この名前がついたんだ。



1号墳

13号墳から出土した
はにわには、にわとり、馬や
家の形をしたものがあるよ。



13号墳のはにわ (イメージ)

四ツ塚古墳群は、蒜山高原のやや東寄りにあります。現在、6世紀ごろの16基の古墳が残されています。このうち1号墳と13号墳からは、土器、はにわ、銅の鏡、鉄の武器、馬具などの多くの物が出土しています。これらの古墳は、蒜山高原を治めていた豪族たちの墓と考えられています。

周辺の施設



真庭市立蒜山郷土博物館 (真庭市蒜山上長田1694)

四ツ塚古墳群の出土品などを展示しています。

開館時間 9時～17時
休館日 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始
電話 0867-66-4667

案内図



駐車場 トイレ あり

おおや さだ 大谷・定古墳群

真庭市上中津井〈国史跡〉



大谷1号墳を正面から見ると5段積みに見えるんだ。



大谷1号墳
(真庭市教育委員会写真提供)



定西塚古墳と定東塚古墳



定北古墳には、「記」の文字が刻まれた陶棺もあったんだよ。

真庭市南西部にあるこの古墳群には、大谷1号墳、定東塚古墳、定西塚古墳、定北古墳、定4号墳、定5号墳という、飛鳥時代(7世紀)に築かれた6基の方墳があります。6基の古墳は、いずれも、列石とよばれる石の囲いをめぐらせ、階段状の構造をしているのが特徴です。このような古墳が、同じ地域で連続して作られるのは大変めずらしいです。大谷1号墳は、飛鳥時代の姿に復元されており、当時の古墳の姿がよく分かります。



大谷1号墳
P 駐車場 トイレ あり

定東塚古墳・定西塚古墳
P 駐車場 あり

周辺の施設



北房ふるさとセンター (真庭市下皆部623-1)

大谷・定古墳群をはじめ周辺の遺跡からの出土品などを展示しています。

開館時間 10時~17時
開館日 毎週水・土曜日
電話 0866-52-4546

つき わ 月の輪古墳

美咲町飯岡〈県史跡〉



この古墳は、地元の人たちの要望により、終戦まもない昭和28年に調査が行われたんだ。



吉井川と吉野川を見下ろす山の頂にある直径約60mの円墳で、4世紀の終わりと5世紀の初めに築かれた。古墳の斜面には周辺から集められた石が敷き詰められ、さまざまなはにわが、三重にめぐらされていました。林道が近くまであります。



研究者だけではなく、地元住民、学校の先生や生徒などが協力して調査されたよ。

周辺の施設



月の輪収蔵庫(月の輪郷土館) (美咲町飯岡1104-1)

月の輪古墳から出土した、土器、はにわ、銅の鏡、鉄の武器などを展示し、見学には予約が必要。

問い合わせ先
美咲町教育委員会柵原支所
(0868-62-1125)



岡山県内には1万基を超える古墳があるといわれており、ガイドブックで紹介しているのは、そのほんの一部です。皆さんが住んでいる地域にも、古墳が残っています。地元の教育委員会などで場所を尋ねて、近所の古墳めぐりをするのも、きっと新たな発見があるよ。

公園の中にある古墳を訪ねる

名称	場所	内容	訪れるには	備考
佐良池古墳群、奥池古墳群	岡山市北区津高台	佐良池古墳群・奥池古墳群とも、各4基の円墳に少し土をかぶせ、古墳の大きさを表示して保存されています。	佐良池古墳群は津高台南バス停西の古墳公園内、奥池古墳群は同バス停東の津高台1号公園内にあります。	
龍ノ口グリーンシャワーの森	岡山市中区祇園	公園入り口からしばらく進んだ右方向に横穴式石室のある円墳があります。また、龍ノ口山山頂南斜面には約40基の古墳が密集し、駐車場近くの谷などにも古墳がたくさんあります。	龍ノ口グリーンシャワーの森が目標です。	駐車場・トイレ・説明板あり。
塚山公園	岡山市北区大内田	塚山古墳は直径13m余りの円墳で、横穴石室の一部が見えています。コンベックス岡山南の扇谷公園には、新屋敷古墳が移築・復元されています。	塚山公園駐車場の北にあります。見落としやすいので注意してください。	駐車場あり。新屋敷古墳には説明板あり。
王墓の丘史跡公園	倉敷市庄新町	住宅団地の中にあるこの公園内には王墓山古墳があり、家形の石棺が置かれています。なお北方には弥生時代の墓である楯築遺跡があります。	王墓の丘史跡公園のグラウンドに登り口があります。グラウンド西には駐車スペースがあります。	駐車場・トイレ・説明板あり。
一貫東1号墳	津山市金井一貫	約30mの前方後円墳。古墳の高まりがよく分かり、敷かれた石も残っています。	津山中核工業団地内エバラ食品の工場の東。工業団地受水池のタンク裏に遊歩道の入り口あり。	
長福寺裏山古墳群	笠岡市山口・走出	長福寺の裏山に前方後円墳4基(東塚、仙人塚、一つ塚、双つ塚)、小方墳4基などがあります。古墳、遊歩道などきれいに整備され、見学は容易です。	かさおか古代の丘スポーツ公園から遊歩道があります。また、双つ塚古墳と一つ塚古墳の間にも駐車スペースがあります。	駐車場・トイレ・説明板あり。

総社北公園古墳公園(すりばち池古墳群)	総社市小寺	総社北公園内の古墳公園内に、石棺や古墳(1号墳・4号墳)などが保存されています。	総社北公園が目標です。	駐車場・トイレあり。
金子古墳群	総社市	一辺約17mの方墳である2号墳をはじめ、数基の方墳が保存されています。	サントピア岡山総社の敷地内にあります。	駐車場・説明板あり。
赤羽根イナリ古墳	高梁市落合町阿部	直径14m高さ1mの円墳に、5基の石棺があり、見学できるように整備されています。近くの崖にも石棺が姿を見せています。	国道313号の北、井谷送水ポンプ場の南にあります。	説明板あり。
今見古墳公園	新見市正田	古墳の盛り土をほとんど失った、2基の横穴式石室をともなう古墳が保存されています。大きな天井の石は見ごたえがあります。	サンパーク新見南の道から下正田跨線橋を渡り、左手の集落内を東に進みます。集落内は道狭く、わかりにくいです。	説明板あり。駐車スペースは狭いがあります。
山陽団地使木西公園	赤磐市山陽	円墳の高まりが確認できます。	便木西公園に隣接する丘陵上(道をはさんだ南にも)にあります。	一部に説明板あり。
川戸古墳公園	美作市川戸	直径18mの円墳(1号墳)、14.5m×17mの方墳(2号墳)、直径10mの円墳(3号墳)があります。きれいに整備されて見学も容易です。	川戸集落の中、消防器具庫の南約0.2kmのところにあります。	駐車場・トイレ・説明板あり。



長福寺裏山古墳群・仙人塚古墳の竖穴式石室



川戸1号墳